

紹介率、逆紹介率

目的

特定機能病院、大学病院本院として地域連携の推進を表す指標として示す。

分母

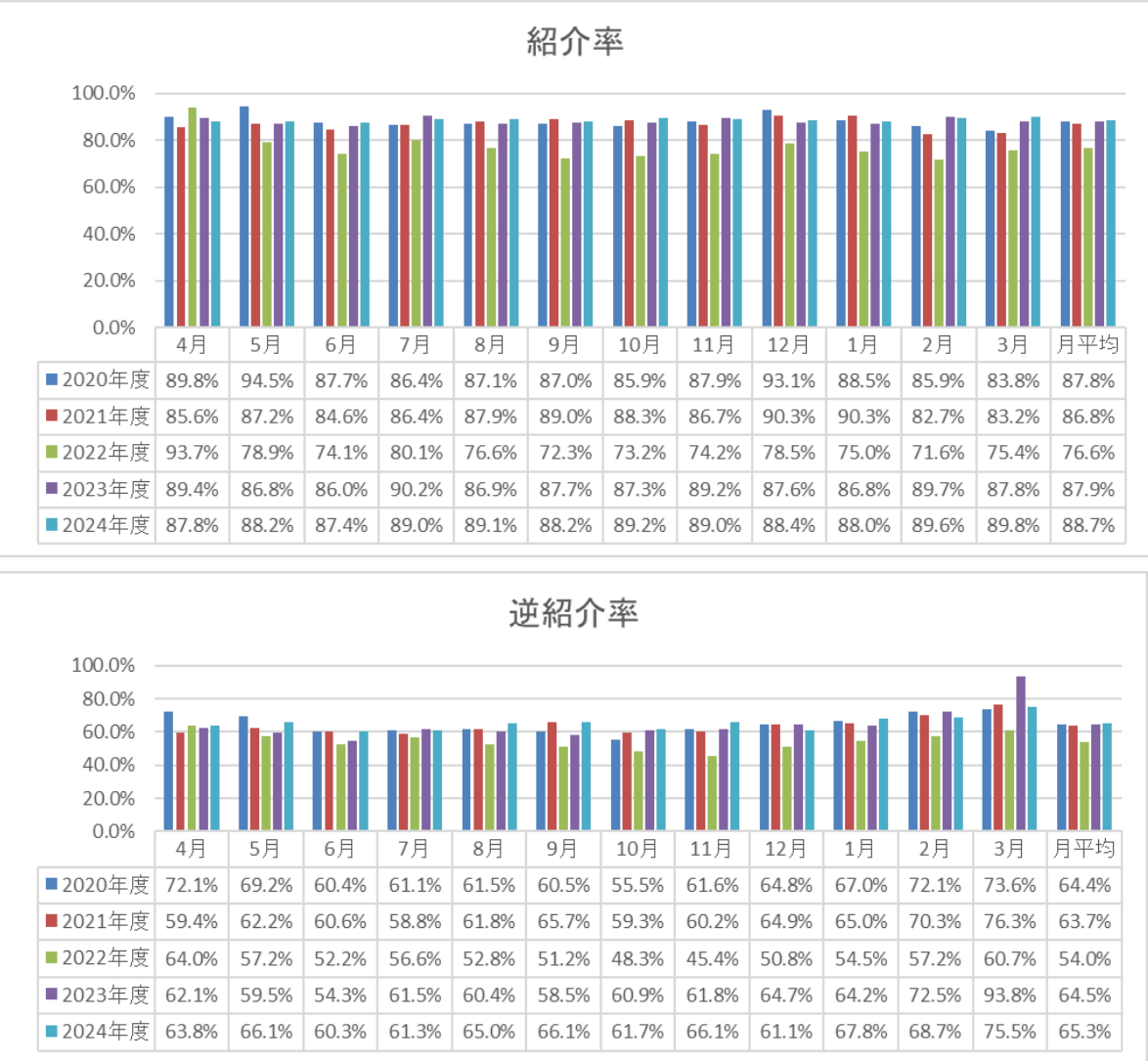
紹介率：初診の患者数(時間外・休日・深夜に受診した患者を除く)

逆紹介率：〃

分子

紹介割合：初診時に紹介状を持参した件数(付属病院・東海各校舎健康推進室除く)＋救急搬送

逆紹介割合：診療情報提供書(逆紹介状)を発行し、文書料を算定した件数



データ分析コメント

紹介割合とは、当院を受診した患者のうち、他医療機関から診療依頼や救急搬送されて来院した患者の割合を示します。逆紹介割合とは、当院から他医療機関に診療依頼した患者の割合を示します。

2022年度診療報酬改定に伴い、特定機能病院は医療機関毎の機能分化を図る目的で紹介割合50%以上、逆紹介割合30%(パーミル)以上あることが求められています。また、2023年10月に紹介受診重点医療機関の認定を受け、より地域医療機関との連携を推進しています。

2024年度は、2023年度に引き続き前年を上回る患者を紹介いただきました。逆紹介についても増加し、地域医療機関との連携推進に努めました。

高度医療を提供する病院としての役割を果たすため、地域のかかりつけ医からの紹介患者を積極的に受け入れていきます。また、当院での専門治療を終え症状が落ち着いた患者さんの継続治療をかかりつけ医へ診療を依頼し相互理解・協力する事で機能分化を進めて参ります。